

第2回備後経済研究会

日時：2019年9月2日（月）17:30～19:30

場所：福山大学宮地会館（JR福山駅北口徒歩1分）

報告：高柳友彦（一橋大学大学院経済学研究科講師）

内容：高度成長期以降の観光地と観光施策の展開—福山市鞆の浦を中心に—

概要：

本報告では、工業都市としての福山市において観光業がどのように受容され展開したのかについて鞆の浦に着目している。戦後高度成長期から現在までを分析時期とし、広島県・福山市行政や福山市観光協会の具体的取り組みをふまえながら、観光地の街並保存などをめぐる住民主導のまちづくりとの関係性も併せて明らかにしている。

略歴：

2009年3月 東京大学大学院経済学研究科博士課程修了

2009年4月 一橋大学大学院経済学研究科講師

代表的著作：

「資源利用における行財政の役割と過少利用の影響」『収縮経済下の公共政策』（慶應義塾大学出版会）

「温泉経営の展開と市町村合併－愛媛県道後温泉を事例に」『日本帝国の崩壊』（慶應義塾大学出版会）

「温泉観光地の戦後：高度成長期熱海温泉における女性労働力の歴史的変容」『人民の歴史学』